

## 講演会・カンファランス等のご案内

### 北九州地区小児科医会のご案内

#### 第561回北九州地区小児科医会11月例会

日時：2019年11月21日（木）19:30～20:30  
場所：アートホテル小倉ニュータガワ 本館2階 舞  
演題：「アトピー性皮膚炎の子供とお母さんに外用指導  
をするコツ」  
演者：広島大学大学院医系科学研究科  
皮膚科学 准教授 田中 暁生 先生

※場所が異なりますのでご注意ください。

#### 第562回北九州地区小児科医会12月例会

日時：2019年12月19日（木）19:15～20:30  
場所：クラウンパレス小倉  
演題：「子どもの冬の感染症～インフルエンザを中心に～」  
演者：つむら診療所 副院長  
久留米大学小児科 非常勤講師 津村 直幹 先生

### 産業医科大学カンファランス・セミナー

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス（終了）

日時：2019年11月11日（月）19:00～  
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室  
演題：臍帯血移植13年後に甲状腺腫大を来した、  
甲状腺腫瘍の15歳女性例  
演者：産業医科大学小児科 島本 太郎 先生、齋藤 玲子 先生  
川越 倫子 先生、山本 幸代 先生、河田 泰定 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：2019年11月28日（木）18:00～  
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室  
演題：環境因子および微生物学的因子からみる  
川崎病の病因および治療反応性  
演者：産業医科大学小児科 小川 将人 先生、保科 隆之 先生

#### 産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2019年12月9日（月）19:00～  
場所：産業医科大学大学2号館2階 2208教室  
演題1：九州大学病院PICU研修報告  
～小児の3次救急・集中治療の現状～  
演者：産業医科大学小児科 多久 佳祐 先生  
演題2：聖路加国際病院に国内留学をして  
～血液診療の経験と学びの機会～  
演者：産業医科大学小児科 水城 和義 先生

※12月の産業医科大学小児科セミナーはお休みです。

### その他講演会などのご案内

#### 第425回小倉小児科医会臨床懇話会

日時：2019年11月28日（木）19:00～  
場所：国立病院機構小倉医療センター地域医療研修センター  
演題1：「当院で入院加療を行なった百日咳  
～5年間のまとめ～」  
演者：国立病院機構小倉医療センター 小児科 柴原 淳平 先生  
演題2：「血球減少で注意すべき鑑別疾患～伝染性紅斑～」  
演者：国立病院機構小倉医療センター 小児科 長澤 功多 先生

#### 八幡小児科医会講演会

日時：2019年12月12日（木）19:00～20:15  
場所：アクティブリゾート福岡八幡  
(旧北九州八幡ロイヤルホテル)  
演題：「定期接種を目指すワクチンとその課題  
～ワクチンの接種率向上・誤接種防止対策を含めて～」  
演者：つむら診療所 副院長  
久留米大学小児科 非常勤講師 津村 直幹 先生

#### 令和元年度第1回乳幼児健診登録医療機関研修会

日時：2019年11月18日（月）19:00～  
場所：市立商工貿易会館 2階 「多目的ホール」  
演題1：「平成30年度乳幼児健診等結果について」  
演者：北九州市子ども家庭局 子ども家庭部 子育て支援課  
演題2：「発達障害児の対応と生活習慣」  
演者：北九州市立総合療育センター小児科部長 友納 優子 先生

#### 第2回「多職種で考える発達障害と療育研究会」講演会

日時：令和元年11月22日（金）19:00～21:00  
場所：北九州市総合保健福祉センター（アシスト21）5階  
『カフェ・オレンジ』  
※椅子のみの会場となりますのでご了承ください。  
演題：「就学前から就学後の児童を対象とした  
地域支援の取り組み」  
講師：1. 引野ひまわり学園 所長 清水 喜代美氏  
2. 北九州YMCAアフタースクール 顧問 森脇 賢司 氏  
3. 総合療育センターにここに通園 通園長 板越 郁美 氏

## 保険診療メモ

### 傷病名に関してご再考ください

傷病名は診療した患者の臨床像を表しています。診断の都度、医学的に妥当適切な傷病名を診療録に記載し、レセプトにも同じ傷病名を使用します。いわゆる「レセプト病名」を付けるのではなく、必要があればコメントや症状詳記などで補うようにしてください。以下、細かい注意点を列記してみます。本稿は県医師会発行の「保険診療の手引き」を参考に記載しています。合わせてお読みください。

#### (傷病名記載上の留意点)

- ・必要に応じて慢性・急性の区別、部位・左右の区別をお願いいたします。
- ・可能な限り、傷病の転帰を記載し、病名を逐一整理してください。特に、急性病名が長時間にわたり継続するのは不自然です。適宜見直しをしてください。
- ・疑い病名は診断がついた時点で速やかに確定病名に変更し、陰性の場合は、その時点で中止としてください。

#### (いわゆる「レセプト病名」について)

実施した検査や投与した薬剤に合わせて付与する傷病名は不適切です。多くの場合、傷病名の頻度や他の診療内容との整合性で判断されます。

#### (症状詳記)

傷病名等のみでは診療内容の説明が不十分と思われる例では、請求点数の高低に関わらず「症状詳記」で補ってください。この場合、

- ・当該診療行為が必要な具体的な「個別の」理由を、簡潔明瞭かつ正確に記述してください。
- ・検査結果など客観的事実を中心に記載ください。特に同月、連月の2回以上の検査は必要性のわかる症状詳記があると丁寧です。

#### (慢性疾患病名)

アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎などの慢性疾患病名では同月に初診料を2回以上算定することはできません。ただし、一旦治癒となり、最低1ヶ月以上の診察・投薬などの空白時間があれば初診料の算定を認めています。慢性疾患病名は予後を鑑みて診断してください。気管支喘息（およびてんかん）は短時間の治療で治癒し転帰の記載がある場合のみ、1発作を1疾患として初診料の請求が「例外的に」認められています。新たな治療開始日に適応となる傷病名を記載してください

#### (医学指導管理料等)

- ・特定疾患治療管理料および小児カウンセリング料については、疑い傷病名では請求できません。
- ・心身医学療法の算定には、心身症に伴う身体的症状を示す傷病名が必要であり、「身体疾患名（心身症）」と記載します。頭痛（心身症）や不眠（心身症）など傷候名では算定できませんのでご注意ください。

#### (確定病名が必要な検査)

- ・特異的IgE検査はアレルギー疾患の確定病名があるときのみ算定できます。
- ・TARCはアトピー性皮膚炎の確定例のみで算定できます。
- ・呼気ガス分析は気管支喘息の確定例に原則として月に1回以内で認めています。連月は査定対象です。

#### (治療・リハビリテーション)

- ・疑い病名での治療・リハビリテーションはできません。
- ・すべてのレセプトが突合検査の対象となっていますので、薬剤の適応症、診断日と処方日の整合性、投与日数などには注意が必要です。外用薬の病名もれにも気を付けてください。
- ・急性疾患の古い病名での再投薬は査定の対象となりえます。新たな治療開始日に適応となる傷病名を記載してください

#### (その他)

- ・ヒトメタニューモウイルス抗原検査には胸部画像診断は不要となりましたが、肺炎が強く疑われる患者が対象であり、ヒトメタニューモウイルス感染症と肺炎（ともに疑いを含む）の傷病名が必要です。
- ・エピペンは「アトピー性皮膚炎+食物アレルギー」の病名では認められず、「アナフィラキシー」の病名が必要です。
- ・鼻処置は耳鼻科的処置に分類されていますので鼻疾患の病名（鼻炎、鼻閉など）が必要です。鼻吸引については、小児科ではオリーブ管による吸引が多いことから、原則として鼻かみができる3歳以上の年齢には認めていませんのでご注意ください。

#### (福岡県小児科審査員連絡会)

## 役員会報告（11月7日：木曜日）

## 協議事項・報告事項

## 報告事項

- ①10月5日(土曜) 福岡県小児科医会役員勉強会：於；福岡市各地区から役員が出席しての勉強会が行われました。演題は北九州地区・福岡地区から1題ずつ行っています。当会からは『北九州地区の発達障害児における早期発見の試み』福岡地区小児科医会からは『保育園・幼稚園における与薬(ダイアアップ座薬を含めて)』

## 協議事項

- ① 第56回北九州地区小児科医会総会(令和2年1月19日)  
特別講演：【発達障害のある子どもと楽しさを共有できる診療をめざして】  
久留米大学小児科主任教授 山下裕史朗先生  
専門医更新単位の申請を行ない、受理されています。
- ②将来構想委員会  
令和元年10月21日に将来構想委員会が行われました。吉田雄司先生が会長に立候補され、承認されています。
- ③寄付（10月役員会にて）  
例年通り、『小児保健研究会』および『到津の森公園』へ10万円ずつの寄付をすることとしました。ご報告が漏れており申し訳ありません。

## 委員会報告

1. 学術委員会報告：神菌淳司  
11月21日 大阪大学の皮膚科の先生に講演依頼  
12月19日 インフルエンザ（ゾフルーザ）関連を予定。  
2月か3月に精神科との合同例会を検討中。  
5月に北九州子どもどころ懇話会と合同例会を検討中。
2. 乳幼児・学校保健委員会報告：古賀一吉  
母子手帳の修正を行っています。